

令和4年度 学習指導計画

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第2学年
使用教科書		現代文B(第一学習社)			
使用副教材等		TOP2500(いっずな書房)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	近代以降の文章について読解し鑑賞する方法を習得し、表現力を高め、自分なりのものの見方・考え方をできるようになる。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	評論『『自明性の畏』からの解放』 小説「山月記」 評論『『私』中心の日本語』	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読み、表現の特徴に注意して筆者の主張を的確にとらえる。 ・小説を精読することでその面白さを味わう。 ・小説がフィクションとして書かれていることの意味や可能性について考える。 ・漢文調の文体が醸し出す非日常的な雰囲気味わい、多彩な表現の鑑賞を通して小説の読解力を向上させ。 ・論理的な文章に特有の抽象語や言葉遣いの意味を理解する。 ・扱われている現代的な問題を自分自身の問題として捉え筆者の主張を参考に、自分なりの見解をもつ。 ・常識に反しながら説得力を持つ論の進め方にふれ、評論の基本を学ぶ。
2 学 期	小説「こころ」 評論「集合知という考え方」 詩歌「永訣の朝」	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読み、表現の特徴に注意して筆者の主張を的確にとらえる。 ・小説を精読することでその面白さを味わう。 ・小説がフィクションとして書かれていることの意味や可能性について考える。 ・長編小説のおもしろさと奥の深さを味わう。 ・小説全体を理解したうえでその部分の読解、構成と主題の把握、登場人物の性格や心理を理解する。
3 学 期	評論「動的平衡」 小説「葉桜と魔笛」 ・短歌・俳句 ・実用の文章「注連縄」	<ul style="list-style-type: none"> ・社会と人間のあり方を主題とする評論を読み、自己の価値観と照らし合わせて考える。 ・現代の大きな問題である科学とどうつきあっていくべきか思索を深める。 ・人間の一筋縄ではいかない多様な価値観や心情が描かれた小説を読み読解力を一層深められるよう設定し、小説の醍醐味を味わう。 ・詩、短歌、俳句を読み、それぞれの表現の特色を理解して味わう。

令和4年度 学習指導計画

教科	国語	科目	古典演習 A	単位数	2 単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第2 学年
使用教科書					
使用副教材等		よむナビ古文2(いいずな書店)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	文章読解を通して伝統的な文化に親しみ、古典の基礎的な素養を学び、古来からの文化を味わう姿勢を身につける。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	顕雅卿の言い間違い 法頭三蔵と弘融僧都 孔子と弟子たち 孟宗竹 藤六という歌よみ はしたなきもの 春霞の歌 足ることを知る 博雅の三位	文法の基礎を定着させるために、基礎からもう一度指導を行う。 1 動詞の復習 2 形容詞・形容動詞の復習 3 助動詞の復習 4 助詞の復習 同様に、主語を特定するための敬語の学習と、助詞に注目して主語を確定する練習を行う。
2 学期	鳥羽僧正の絵 滝口の出家 都に近づく 金の枕 那須野の少女 行く蜚 無常と仏道 宇万枝の歌 乳母との別れ	本文の読み取りについては、実際の入試でも役立つように、次の点に留意して指導を行う。 1 出典を確認し、出典によって内容が予測できる場合は読解に利用する。 2 リード文・注・設問文などの「現代語で書かれている情報」から、内容を予想する。 3 「登場人物は2, 3人に過ぎない、しょせんは人情話」という古文の特徴を意識しながら、内容を読み取る。 4 主語を確定する。確定の要素は次の二つ。 A 敬語に注目する。 B 接続助詞「て」「で」「を」「に」「が」「ど」「ば」に注目する。
3 学期	裸で詠んだ歌 少納言公経 話し方について 河原合戦 姉の死 帝からの使者 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	来年度の受験を踏まえ、古文の学習内容に加えて、漢文の学習も行う。 具体的には「理屈で学ぶ漢文句形」(自主作成教材)で古典文法の再確認と、句形の学習を行う。

令和4年度 学習指導計画

教科	国語	科目	国語演習 A	単位数	2 単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第2 学年
使用教科書					
使用副教材等		よむナビ現代文2(いいずな書店)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	文章読解を通して伝統的な文化に親しみ、古典の基礎的な素養を学び、古来からの文化を味わう姿勢を身につける。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	臣下の法則は北極のサメ が知っていた 読書の価値 唇に小さな春を 疲れのかたち 子ども 100 年のエポック 博士の本棚 わかりやすいはわかりにく い？	評論文においては、次の点に注目して本文の内容を読み取る訓練を行う。 1 テーマをとらえる。 繰り返し出てくる言葉に注目する。 2 展開をとらえる。 文章展開のパターンは次の2種類。 A 同様の内容が最後まで繰り返されるタイプ。 B 対比関係で論が展開されるタイプ。 具体的には、「日本と外国の対比」「現在と過去の対比」「一般意見と筆者の意見の対比」の3種類が基本。 3 結論をとらえる。 文末表現に注目する。「～である。」「～だ。」「～と思う。」「～ではないか。」「～ではない。」など。
2 学期	「考え方」の風土 ひらいて 俳句脳 「流域地図」の作り方 彼らの流儀 現代方言の正体 和の思想 すばらしき旅 忘却の整理学 剣舞	小説においては、以下の点をとらえるようにして指導を行う。 1 場面を読み取る。 具体的には、登場人物・時・場所・時間の流れをつかむ。 2 心情を読み取る。 具体的には、「直接心情を述べたところから読み取る」「会話から読み取る」「行動や表情から読み取る」「情景描写から読み取る」など。 評論文における指導は1 学期と同様。
3 学期	白 二つの造形意志 恩を返す話 フェイスブック問題を考える サンダル 森を知ろう、森を楽しもう。	来年度の受験を念頭に、次の内容の指導を行う。 複数文章の読み取り 図表の入った資料の読み取り 百字要約の練習

令和4年度 学習指導計画

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位
学科・類型		普通科I類		学年	第2学年
使用教科書		現代文B(第一学習社)			
使用副教材等		常用漢字ワイドアルファ(桐原書店)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>言語の知識や技術を身につけ、近代以降の作品内容や書き手の意図を理解する力を伸ばし、論理的思考力と想像力を磨く。 また、自分の考えや意見を表現する方法や工夫を学び、実社会役立つ国語の能力を育成する。</p>
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<p>◎随想 「わたしはあなただったかもしれない」 「私」という「自分」 ◎小説 「デューク」 ◎評論 「ヒトはなぜヒトになったのか」</p>	<p>◎随想の文章の基本的な流れをつかみ、作者の視点・考えを理解する。 ◎文章の論理的な構成を理解し、筆者の主張を正確に把握する。 ◎小説読解の基本を確認し、短編小説の世界を鑑賞する。 ◎小説の内容について批評ができるようにする。 ◎新しい発見に目を向け、日常生活を深めるきっかけにする。</p>
2 学 期	<p>◎詩 「そこにひとつの席が」 「永訣の朝」 ◎随想 「情けは人の……」 ◎小説 「ナイン」 ◎短歌と俳句</p>	<p>◎近代詩・現代詩に親しみ、鑑賞の方法、技法について学ぶ。 ◎想像力を豊かにし、言葉に対する感性を磨く。 ◎筆者の主張や考えを適切に読み取る力を身につける。 ◎小説を読み味わうおもしろさを体験し、短編小説を深く読み込む方法を身につける。 ◎作品のテーマを捉え、自身の問題として考える姿勢を養う。 ◎短歌・俳句の形式や表現方法、鑑賞を学ぶ。</p>
3 学 期	<p>◎評論 「コミュニケーションの文化」 ◎小説 「鼻」 「こころ」</p>	<p>◎文章の論理的な構成を押さえ、筆者の論旨を理解する。 ◎近代の代表的な小説を読解・鑑賞する力を身につける。 ◎小説表現の豊かさを学び、以後の読書生活に反映させる。 ◎小説世界を自分に引き付けて考える態度を養う。</p>

令和4年度 学習指導計画

教科	国語	科目	古典 A	単位数	2 単位
学科・類型		普通科 I 類		学年	第 2 学年
使用教科書		第一学習社『高等学校 改訂版 標古典A 物語選』			
使用副教材等		尚文出版『やさしくくわしい古典文法 三訂版』 第一学習社『新版六訂 カラー版新国語便覧』(アプリ)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	『古今著聞集』 小式部内侍が 『伊勢物語』 初冠・あづさ弓 『徒然草』 公世の二位 よろづのことは 『枕草子』 春はあけぼの 雪のいと高う	古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 文中の用言の活用の種類・活用形を確認する。 敬語表現について用法・種類・敬意の方向を理解する。 主要な助動詞の意味・用法について理解する。 既習の知識をもとに、口語訳ができるようにする。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 重要古語の活用の種類・活用形・意味を確認する。 既習の知識をもとに、口語訳ができるようにする。 話の構成や知識をもとに、登場人物の行動や心情を読み味わう。 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 歌物語を読んで、歌物語独特の成り立ちを学ぶ。
2 学 期	『平家物語』 能登殿最期 『大鏡』 弓争い 『万葉集』『古今集』 『源氏物語』 光る君誕生 若紫	古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 文中の用言の活用の種類・活用形を確認する。 敬語表現について用法・種類・敬意の方向を理解する。 主要な助動詞の意味・用法について理解する。 既習の知識をもとに、口語訳ができるようにする。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 重要古語の活用の種類・活用形・意味を確認する。 既習の知識をもとに、口語訳ができるようにする。 話の構成や知識をもとに、登場人物の行動や心情を読み味わう 軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。
3 学 期	漢詩・近体の詩・絶句 「峨眉山月歌」 「遊山西村」 『史記』『四面楚歌』 諸家の思想 孟子・老子・壮士 韓非子	漢詩を味わい、中国古典文学への関心を高める。 中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。 漢詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解する。 漢文の補充学習。 訓点に従って、漢文を正しく読み、書き下し文に改める。 話の構成や知識をもとに、登場人物の行動や心情を読み味わう。 一般遣いしている故事成語の成り立ちを知る。 訓点に従って、漢文を正しく読み、話の内容を理解する。 話の構成や知識をもとに、登場人物の行動や心情を読み味わう。 『史記』の文学性についての概要を知る。

令和4年度 学習指導計画

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位
学科・類型		生活デザイン科		学年	第2学年
使用教科書		現代文B(第一学習社)			
使用副教材等		常用漢字ワイドアルファ(桐原書店)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>言語の知識や技術を身につけ、近代以降の作品内容や書き手の意図を理解する力を伸ばし、論理的思考力と想像力を磨く。 また、自分の考えや意見を表現する方法や工夫を学び、実社会役立つ国語の能力を育成する。</p>
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<p>◎随想 「わたしはあなただったかもしれない」 「私」という「自分」 ◎小説 「デューク」 ◎評論 「ヒトはなぜヒトになったのか」</p>	<p>◎随想の文章の基本的な流れをつかみ、作者の視点・考えを理解する。 ◎文章の論理的な構成を理解し、筆者の主張を正確に把握する。 ◎小説読解の基本を確認し、短編小説の世界を鑑賞する。 ◎小説の内容について批評ができるようにする。 ◎新しい発見に目を向け、日常生活を深めるきっかけにする</p>
2 学 期	<p>◎詩 「そこにひとつの席が」 「永訣の朝」 ◎随想 「情けは人の……」 ◎小説 「ナイン」 ◎短歌と俳句</p>	<p>◎近代詩・現代詩に親しみ、鑑賞の方法、技法について学ぶ。 ◎想像力を豊かにし、言葉に対する感性を磨く。 ◎筆者の主張や考えを適切に読み取る力を身につける。 ◎小説を読み味わうおもしろさを体験し、短編小説を深く読み込む方法を身につける。 ◎作品のテーマを捉え、自身の問題として考える姿勢を養う。 ◎短歌・俳句の形式や表現方法、鑑賞を学ぶ。</p>
3 学 期	<p>◎評論 「コミュニケーションの文化」 ◎小説 「鼻」 「こころ」</p>	<p>◎文章の論理的な構成を押さえ、筆者の論旨を理解する。 ◎近代の代表的な小説を読解・鑑賞する力を身につける。 ◎小説表現の豊かさを学び、以後の読書生活に反映させる。 ◎小説世界を自分に引き付けて考える態度を養う。</p>

